

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	キャリア教育実践		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	加藤 裕史	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
社会人基礎力教育の一環として、主体的かつ能動的な学習の促進						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
PC、プロジェクター、配布資料 映像資料						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。 日々の自宅学習に習ったことを反映させて欲しい						
《履修に当たっての留意点》						
卒業後に社会の一員として有意義に働く事ができる人材を育成することがこの授業の狙いです、この授業を通じて様々な事を学びましょう。積極的な受講態度が望ましいです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション自己肯定感を理解し、他者からみた自分自身の姿を知ることができる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	自己肯定感を高める事の重要性を学習する。 ワークを通じて他者から見た自分自身の姿			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ① 発信力を鍛えよう。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ② 傾聴力を鍛えよう	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ③ 創造力を鍛えよう	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ④ 実行力を鍛えよう	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ⑤ 主体性と自主性の違いを知り、主体性を鍛えよう。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ⑥ 計画力を鍛えよう。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ⑦ 事例を参考に社会人基礎力アセスメントを実施できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ⑧ 事例を参考に社会人基礎力アセスメントを実施できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	社会人基礎力 ⑨ 事例を参考に社会人基礎力アセスメントを実施できるようになる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	経済産業省 社会人基礎力育成プランを学習する。 社会で必要とされる人材			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	自分自身の強みを生かす戦略を学ぼう。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	学内で取得する資格を更に強みとして生かすためのリカレント戦略 卒業後のステップアップ等を学ぶ			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な進路について知ろう。①	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	自分自身の学ぶ学習領域が生かせる職種を授業内で紹介し、 国家試験合格後の長期プランを立案できるようにする。			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	様々な進路について知ろう。②	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	自分自身の学ぶ学習領域が生かせる職種を授業内で紹介し、 国家試験合格後の長期プランを立案できるようにする。			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	就職活動に関する実践的な知識を獲得しよう。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	就職活動に関する実践的な学びとして、キャリアセンター利用法 を学びその知識を問う問題に触れる			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
	各コマにおける授業予定	まとめと最終確認			